様式2

該当する項目に〇を選択
（※複数選択可能）

設備整備事業概要

記載例

都道府県： 19山梨県

青着色のセルを入力してください

事業区分	新興感染症対応力強化事業（協定締結医療機関設備整備事業）	
種目	〇	簡易陰圧装置
	〇	検査機器（PCR検査装置）
		簡易ベッド
		HEPAフィルター付き空気清浄機（陰圧対応可能なものに

年度	令和6年度
計画・実績	1.事業計画書

【病床確保】を内容とする協定締結医療機関が対象
・簡易陰圧装置

【病床確保】又は【発熱外来】を内容とする協定締結医療機関が対象
・検査機器（PCR検査装置）
・簡易ベッド

【発熱外来】を内容とする協定締結医療機関が対象
・HEPAフィルター付き空気清浄機（陰圧対応可能なものに限る。）

団体名（開設者）	施設名	所在地
医療法人　〇〇会	〇〇病院	山梨県甲府市〇〇－×× 保険医療機関番号 19xxxxxxxx

１．感染症法に基づく医療措置協定の締結状況（該当する項目に〇を選択）

〇 病床確保（法第36条の２第１項第１号）
〇 発熱外来（法第36条の２第１項第２号）

〇 協定締結済み
　 協定締結予定

２．設備整備内訳（参考のため、優先順位の高いものから記載してください。）

プルダウンから選択

プルダウンから選択

品目	メーカー	規格	数量	単価（税込）	金額（税込）	設置場所	整備の様態
				円	円		
簡易陰圧装置	〇〇	xx-11	1	1,000,000	1,000,000	●●棟	２.増設
検査機器（PCR検査装置）	××	xx-99	1	6,000,000	6,000,000	●●棟	１.新規
					0		
					0		
					0		
					0		
					0		
					0		
					0		
					0		
				合計	7,000,000		

３．整備事業の必要性（具体的に記入すること）

設備整備を必要とする理由
新興感染症の発生時に、入院患者を受け入れる病床を確保するに当たって、院内感染を防止するため陰圧化された個室を増やす必要がある。
新興感染症の発生時に、外来患者に対応するに当たって、自院でPCR検査を実施し、速やかに確定診断を行う体制を整備する必要がある。